

北九州港セミナー in 東京

Kitakyushu
Action!

動かせ、未来。北九州市

「北九州の港と空港の現在、 そして未来へ」

令和7年10月23日
北九州市港湾空港局長
倉富 樹一郎

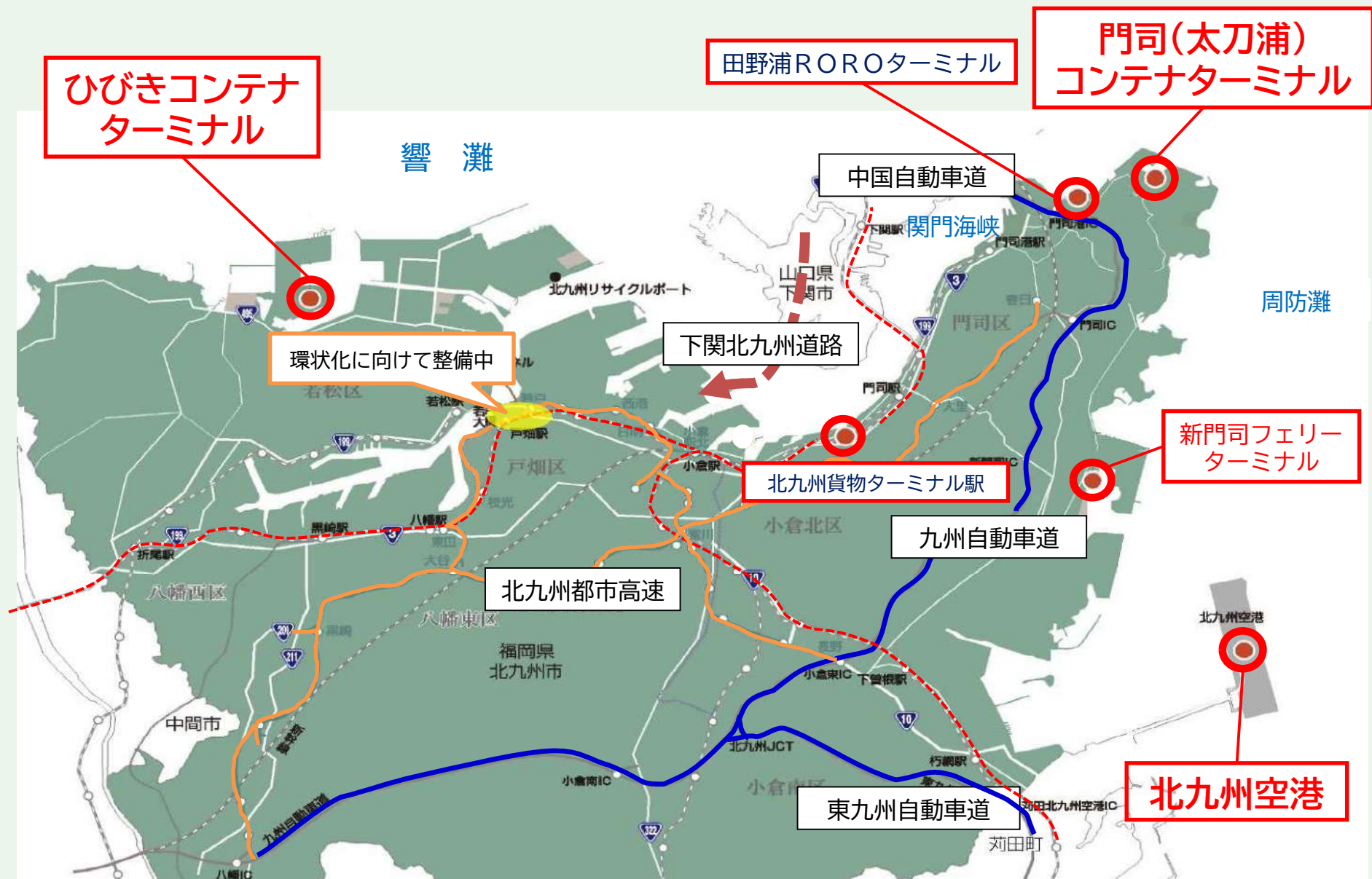
本日は話すこと

- 物流のすべてをこのまちで。
- 北九州の港と空港の現在
- 北九州の港と空港の未来

物流のすべてをこのまちで。

▶「陸・海・空」物流のすべてをこのまちで。

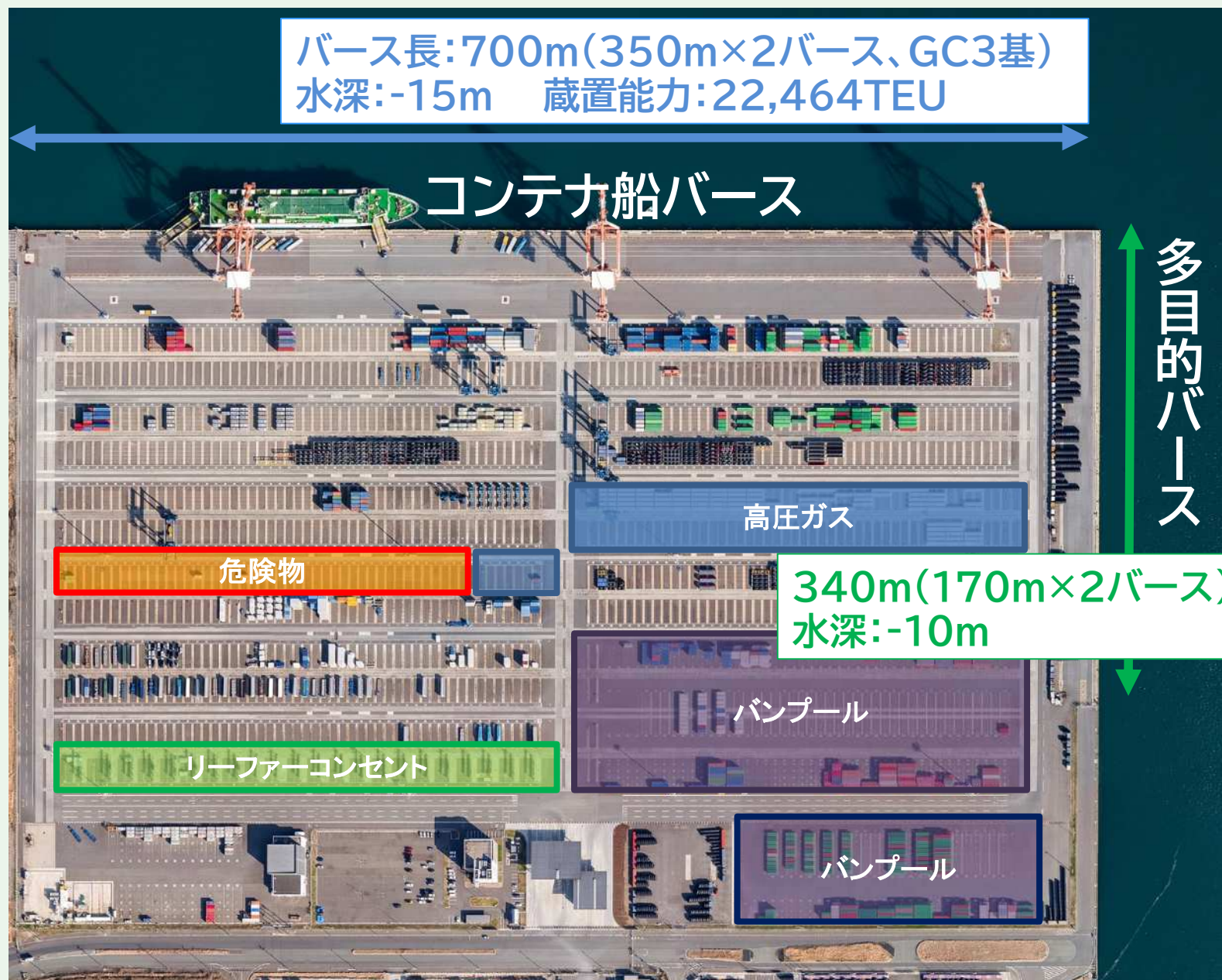
Kitakyushu
Action!



▶ 門司(太刀浦)コンテナターミナル【西日本随一のCT】



▶ ひびきコンテナターミナル【-15mの大水深港湾】



▶北九州空港【九州・中四国で唯一の24時間空港】

Kitakyushu
Action!

九州道・東九州道・中国道の結節点

最寄りICまで10分で充実した高速道路網へ接続

物流拠点空港に向けた機能強化

貨物用エプロン・貨物上屋の整備や滑走路延長で
物流拠点としての利便性が向上

九州・中四国で唯一の貨物定期便が就航

国際・国内の航空貨物ネットワークが拡大



空と海のシームレスな輸送

海上輸送と組み合わせたシー & エア輸送

広大な将来拡張用地

70haの拡張用地を活用した
次世代への展開

九州・中四国で唯一の24時間空港

深夜早朝便など柔軟な運航計画が可能

北九州の港と空港の現在

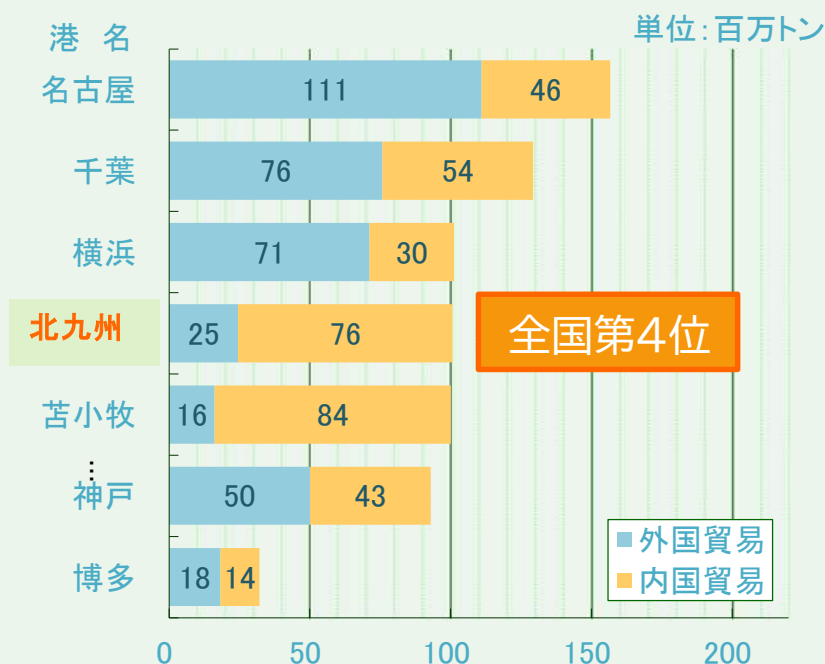
▶北九州港の物流動向【海上出入貨物】

令和6年は**1億63万トン** 全国第4位の取扱実績

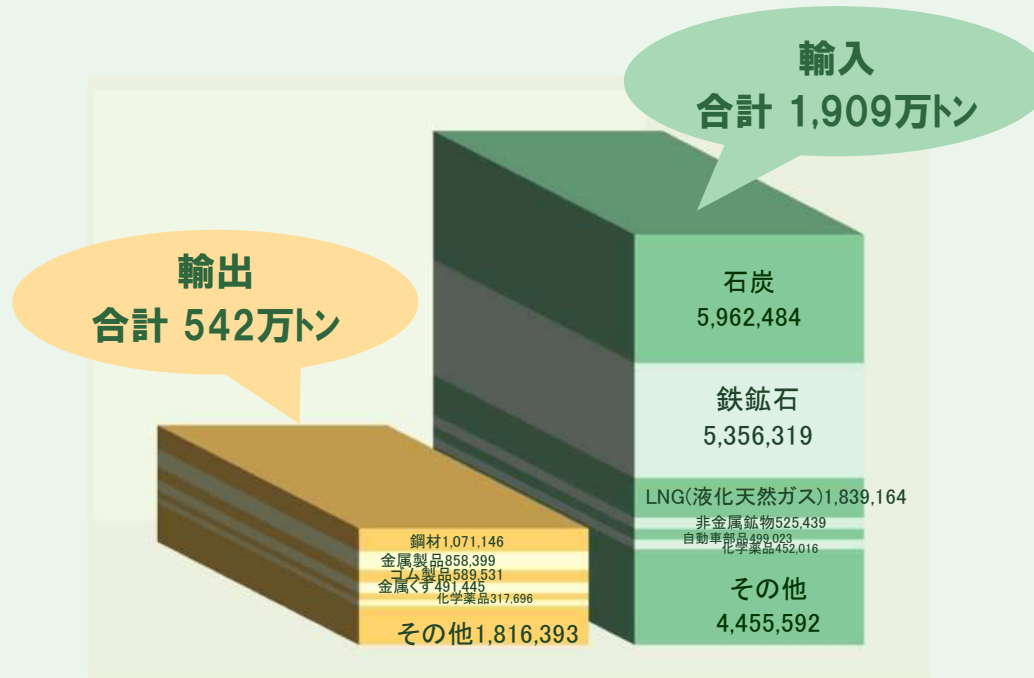
輸送手段別貨物量の割合



日本の主要港の貨物量



品種別海上出入貨物(外国貿易)

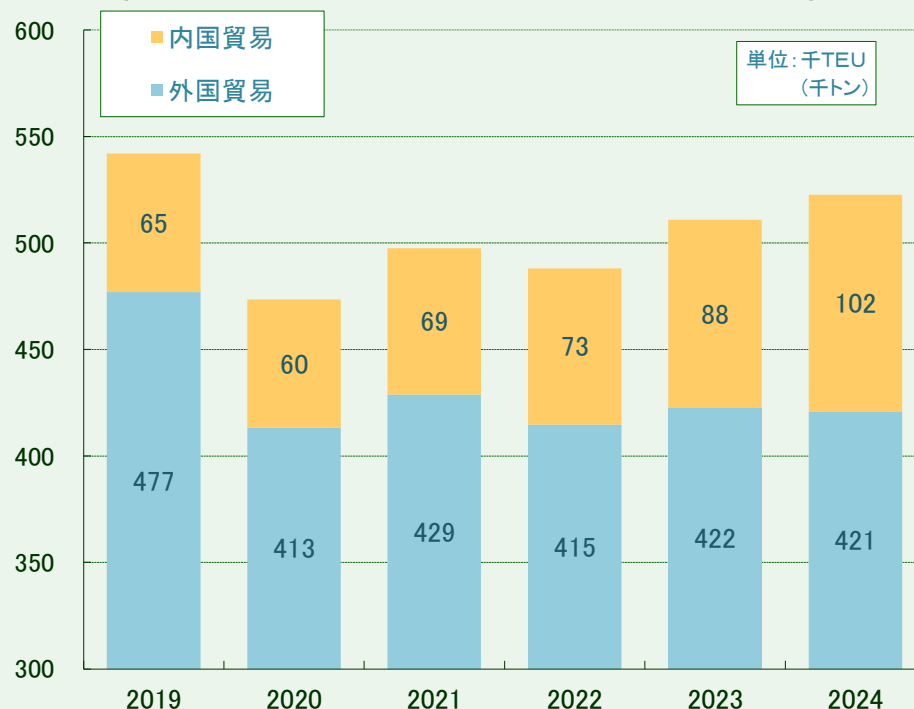


▶北九州港の物流動向 【コンテナ貨物】

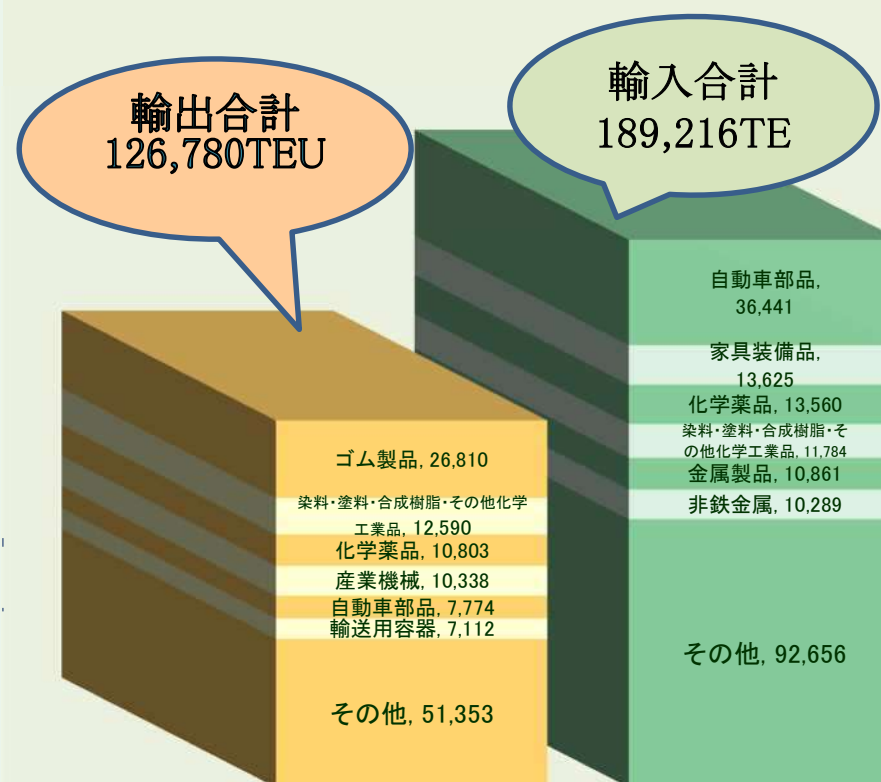
令和6年は**52万TEU** **全国第8位**の取扱実績
(うち外貿コンテナ42万TEUは全国第7位)

コンテナ貨物量の推移

〔太刀浦CT：45万TEU〕
〔ひびきCT：6.9万TEU〕

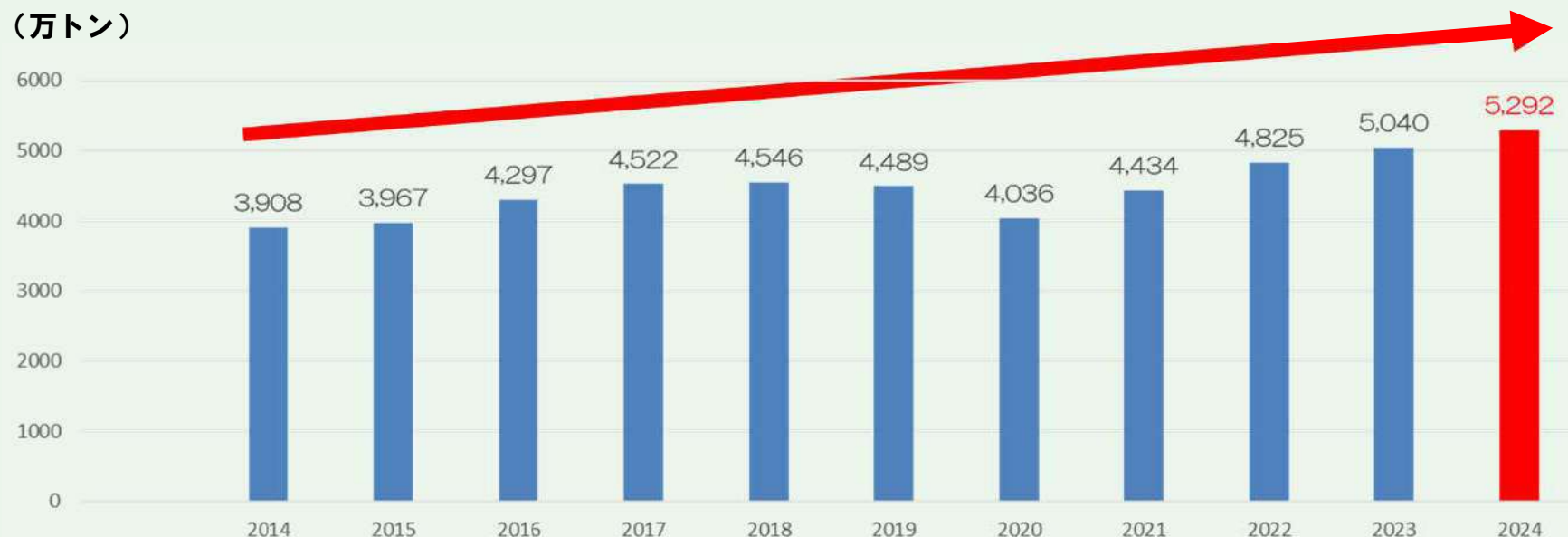


品種別外貿コンテナ貨物(実入りのみ)



▶北九州港の物流動向【フェリー貨物】

令和6年は **過去最高の 5,292万トン 全国第2位**



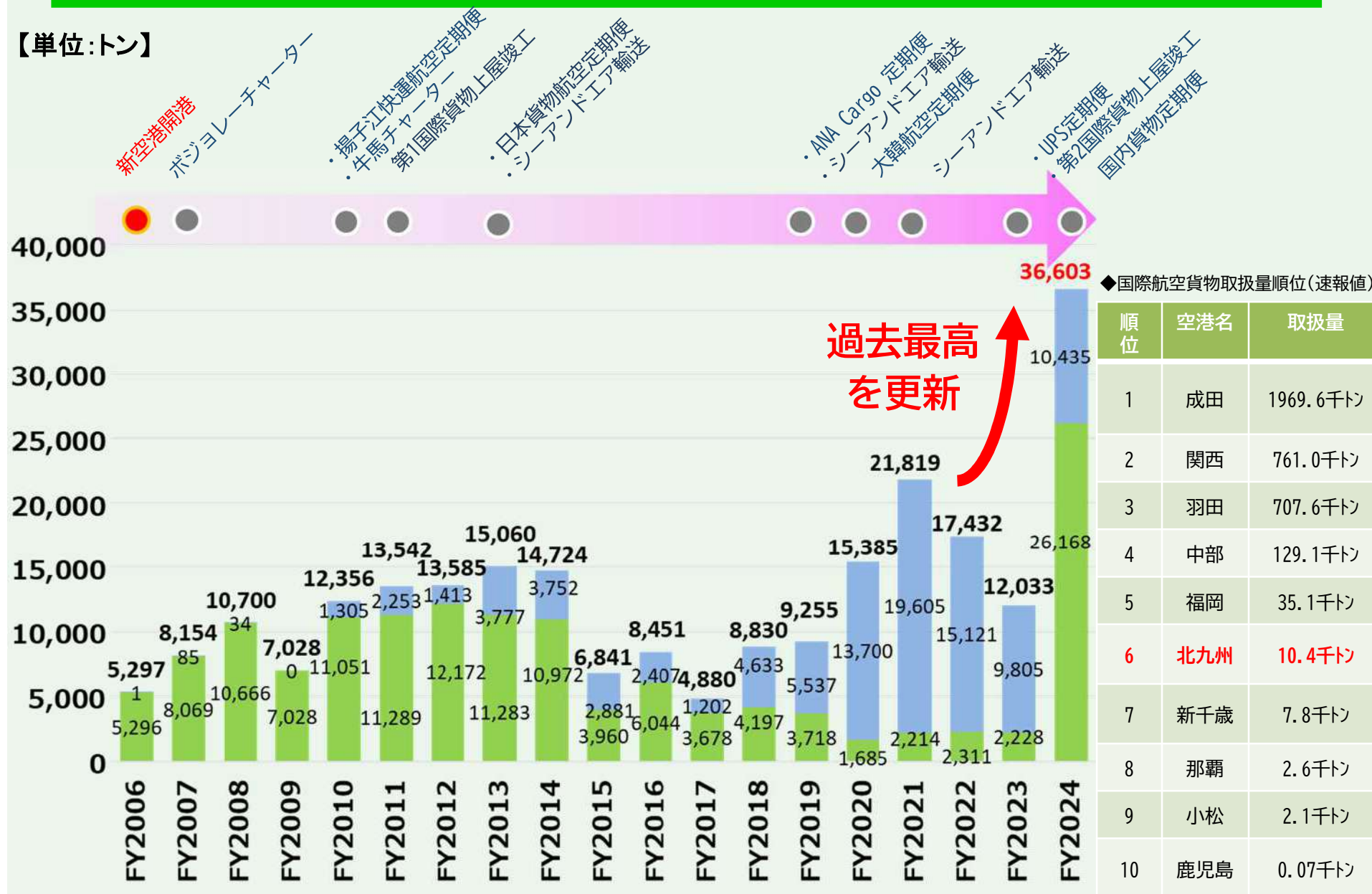
船舶大型化 ⇒ 輸送力25%UP



▶北九州空港の物流動向

Kitakyushu
Action!

【単位:トン】



▶ アジアをシームレスに結ぶ航路網

巨大市場を抱えるアジアに近接

- ・ 豊富なダイレクト航路
- ・ 短い海上輸送日数



▶ 充実した国内海上ネットワーク

Kitakyushu
Action!

国内フェリー

阪九フェリー	新門司 ⇄ 神戸・泉大津
名門大洋フェリー	新門司 ⇄ 大阪南港
オーシャントランス	新門司 ⇄ 徳島 ⇄ 東京
東京九州フェリー	新門司 ⇄ 横須賀

国際フィーダー

【日本海航路】

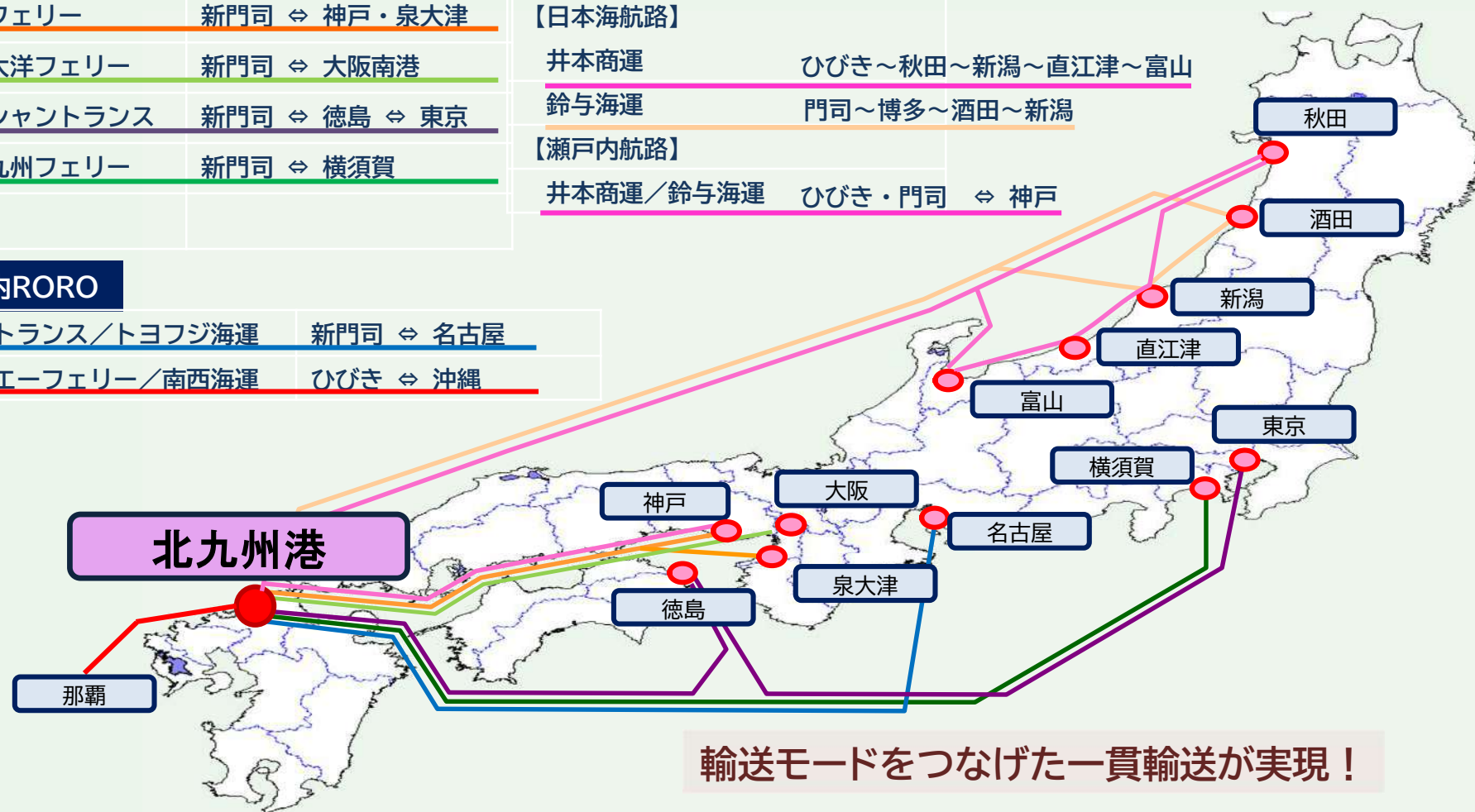
井本商運	ひびき～秋田～新潟～直江津～富山
鈴与海運	門司～博多～酒田～新潟

【瀬戸内航路】

井本商運／鈴与海運	ひびき・門司 ⇄ 神戸
-----------	-------------

国内RORO

フジトランス／トヨフジ海運	新門司 ⇄ 名古屋
マルエーフェリー／南西海運	ひびき ⇄ 沖縄



輸送モードをつなげた一貫輸送が実現！

物流2024年問題対策

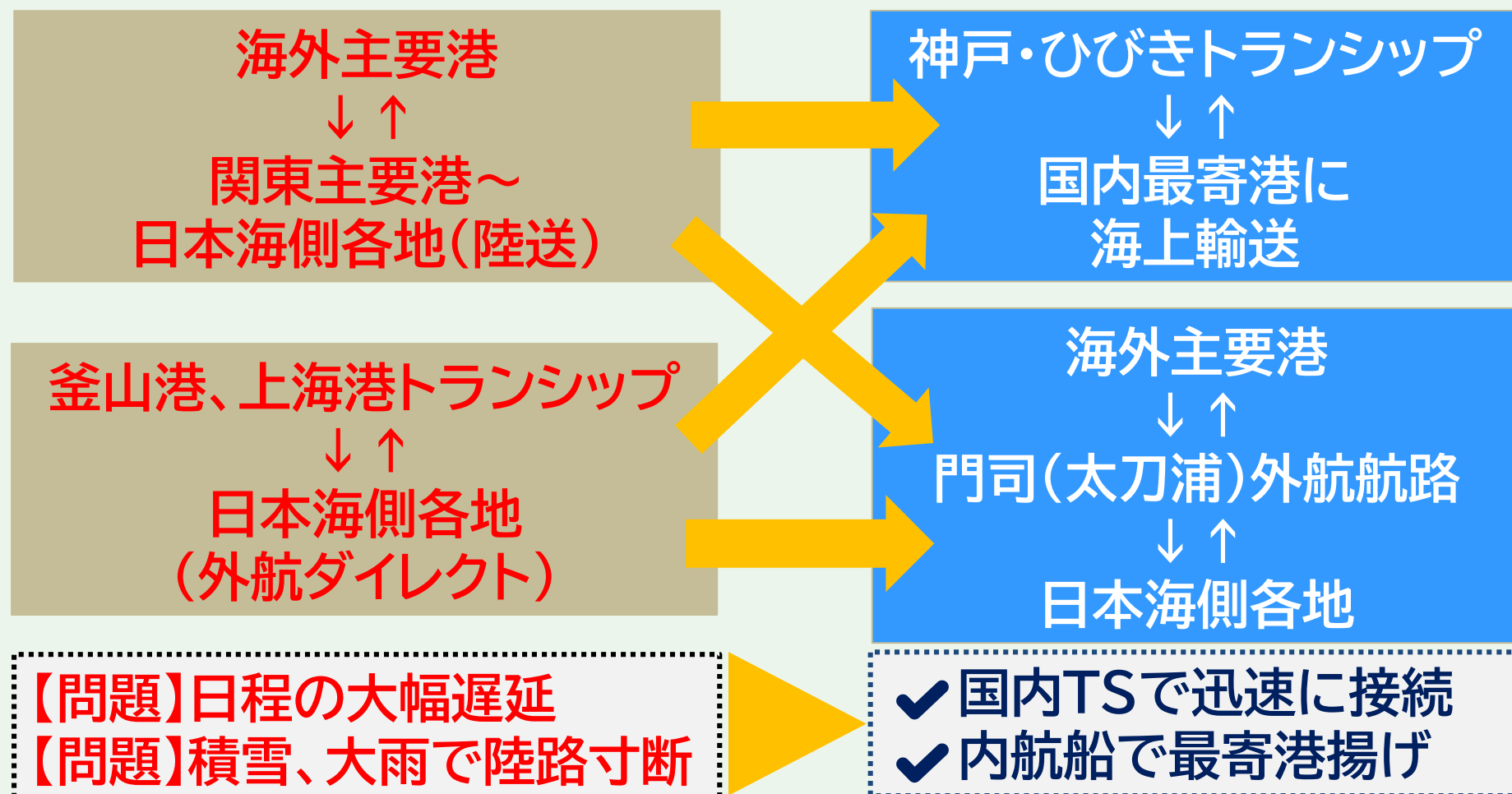
輸送の低炭素化

BCP対策（雪・大雨等）

▶ 日本海航路の活用で課題解決へ

(従 来)

(現 在)



輸送ルート of 国内回帰で、課題解決・輸送安定化！

▶補助制度【コンテナ・モーダルシフト】

① コンテナ貨物補助・・・日本海航路を活用した貨物へも補助

	(1)新規貨物	(2)転換貨物	(3)トライアル貨物
補助対象貨物	工場新規立地や増設等により新たに発生したコンテナ貨物	他港を発着地として輸出入を行っていた貨物を、北九州港利用に転換	新たに北九州港を利用したトライアル輸送を行う貨物
補助対象者	荷主・フォワーダー等		荷主・フォワーダー等
対象ターミナル	太刀浦CT(内貿のみ)・ひびきCT	太刀浦CT・ひびきCT	太刀浦CT・ひびきCT
補助額	20 Feetコンテナ：2, 500円/本 40 Feetコンテナ：5, 000円/本 ※ひびきCTの輸入コンテナは単価設定を2倍！		20FT：13,000円/本 40FT：21,000円/本 ※上限50万円

② モーダルシフト補助・・・フェリー・RORO貨物への補助

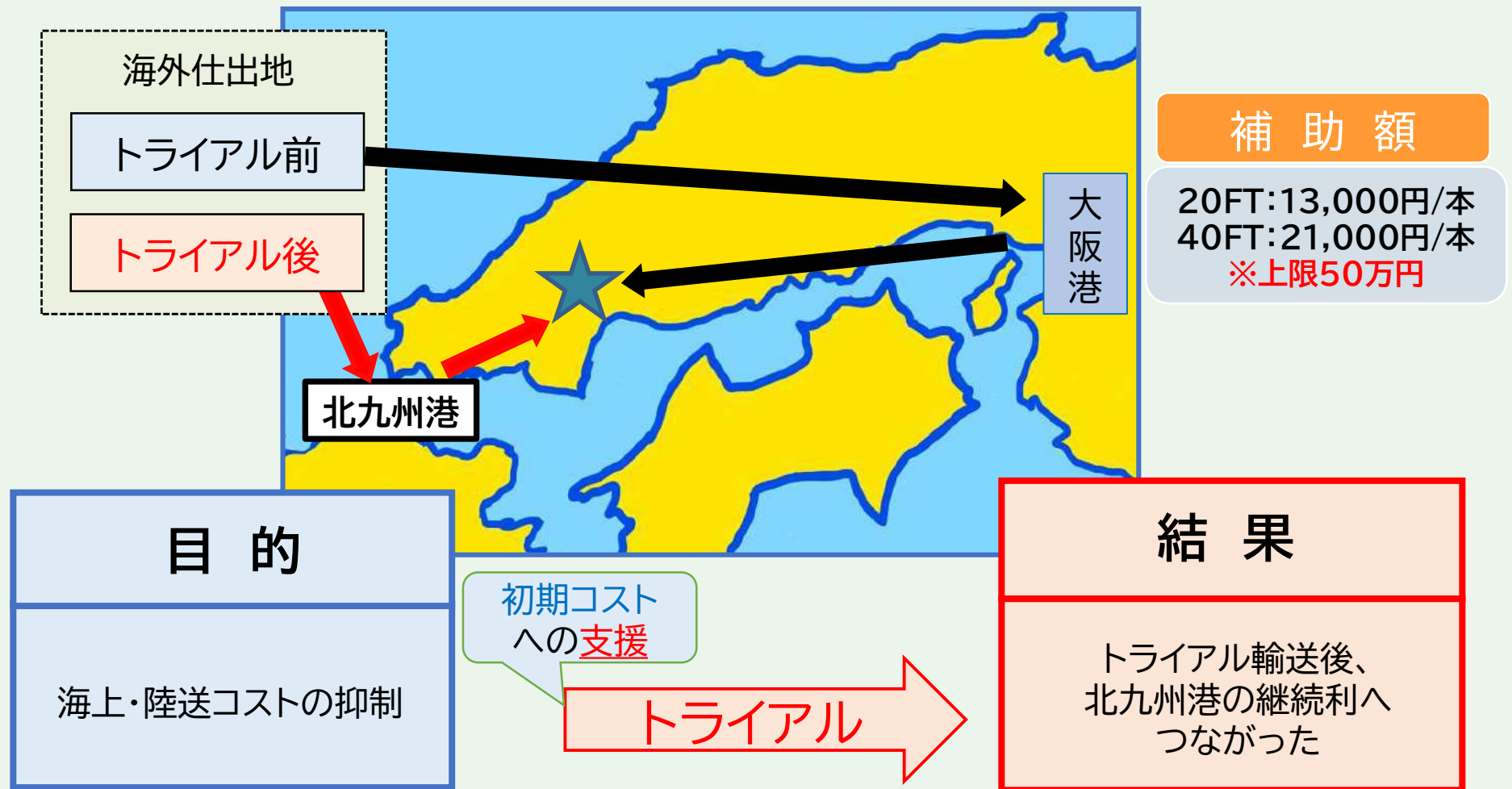
補助対象貨物	北九州港の定期国内フェリー・RORO航路を利用した新たなモーダルシフト貨物
補助対象者	荷主、貨物運送事業者
補助額	20FT以下のコンテナ、又は8m未満のトラック・トレーラー：7, 000円/台 20FT超のコンテナ、又は8m以上のトラック・トレーラー：10, 000円/台 ※週末の発着便利用は補助単価に5千円上乘せ ※上限20万円

ただし週末の利用が一定ある場合は30万円。

▶北九州港の補助制度活用例【トライアル貨物】

Kitakyushu
Action!

既存の物流よりも有効な物流改善策はないだろうか？
⇒北九州港を利用してみる(トライアル)



▶ 多様なニーズに応える危険物倉庫群

Kitakyushu
Action!

- 半導体・自動車産業における危険物倉庫需要の高まり

課題



社内や近隣地域に
蔵置場所がない

危険倉庫の情報不足
(所在地・規模など)

デポの拡大(BCP)が
必要だが対応が出来ない

港周辺に危険物倉庫を
建設できる用地がない

北九州港の活用

- 市内に多数の民間危険物倉庫群
- ひびきコンテナターミナルの活用(ヤード内蔵置)

まずは相談

▶ 航空輸送ネットワーク

1 物流ネットワークの構築

■国際貨物定期便（九州・中四国で唯一）

○大韓航空（令和元年11月就航）

- ・仁川－北九州
- ・仁川ハブを経由した世界各都市への輸送ネットワークの構築

○UPS（令和5年2月就航）

- ・深圳－関空－北九州
- ・深圳を経由し最短1～3日で世界各地へスピード輸送の実現

大韓航空



UPS



2 海上空港の特長を活かした輸送

○シーアンドエア輸送

- ・海上空港としての特長を活かした船舶と航空による複合輸送
(例) 令和3年11月：人工衛星の輸入【ルート】

フランス（航空）⇒北九州空港（船舶）⇒種子島



3 新たな物流ネットワークの構築

■国内貨物定期便の就航（令和6年4月）

○ヤマトグループとJALグループ

【運航路線】

- ・東京(羽田・成田)⇔北九州 2.5往復 5便／日
- ・沖縄(那覇)→北九州 0.5往復 1便／日
- ・北九州⇔新千歳 1往復 2便／日
- ・ヤマトホールディングス株式会社が持続的な物流ネットワークの構築に向けて貨物専用機を導入、日本航空株式会社と共同で九州の航空輸送の拠点として、北九州空港へ就航



提供：ヤマトホールディングス株式会社

※機体デザインはイメージです。

北九州の港と空港の未来

▶北九州港の港湾計画改訂



社会経済情勢の変化への対応

- ・デジタル・トランスフォーメーション(DX)の進展への対応
- ・2050年カーボンニュートラル実現への対応 等

北九州港長期構想 令和4年12月策定

北九州港の概ね20～30年後の将来の姿やそれを実現するための施策の方

<基本理念>

地域経済と物流・産業を支え、「グリーン」で「スマート」な未来を創造する北九州港
～世界とつながり SDGsを牽引～



港湾計画改訂(目標年次:2030年代後半) 令和5年12月

港湾の開発、利用及び保全に関するマスタープラン

取扱貨物量 12,080 万t目標 (9,857 万t【令和5年確定値】)

- <主な計画内容>
- モーダルシフトの進展に対応した新規RORO岸壁
 - 既存岸壁の混雑解消等のための新規バルク岸壁
 - 風力発電関連産業の総合拠点形成のための新規岸壁

▶北九州港の港湾計画改訂

太刀浦地区

太刀浦C T第1ターミナルと
第2ターミナル間の泊地の埋立
を港湾計画に位置付け



新門司地区

新規RORO航路に対応する岸壁等を
港湾計画に位置付け



▶カーボンニュートラルポートの取組み

Kitakyushu
Action!



▶北九州空港【滑走路延長】

○滑走路3,000m化へ

【滑走路延長の事業化決定: 令和5年3月末】

- ・総事業費: 約130億円
- ・事業期間: 令和5年度～9年度
令和9年8月末供用開始予定
- ・事業効果: 3,000m化により、
大型航空機の北米・欧州長距離運航が可能
→企業の競争力や地域の立地環境が向上

空 港	滑走路延長	航続距離圏内の地域
北九州空港	2,500m	東アジア、東南アジア、中国東部、ロシア東部
福岡空港	2,800m	欧州、オーストラリア、北米西海岸
	3,000m	アフリカ、北米全域



▶北九州空港【拡張性】

将来の拡張性

- 関門航路の浚渫土の埋立処分場で70haの広大(全域北九州市域)
- 空港ポテンシャルを生かし、産業集積や物流振興などに活用



北九州空港を起点とした地域活性化

ポテンシャル

- 24時間利用
- アジアに近い
- 充実した高速道路網



成長機会

- 滑走路延長
- 物流機能強化
- 拡張性



地域の発展をけん引するリーディング
エアポート

将来ビジョンに掲げる
「物流・交流・産業」の
3つの将来像を実現

地域活性化につながる好循環

▶北九州空港【アクセス強化の取組み】

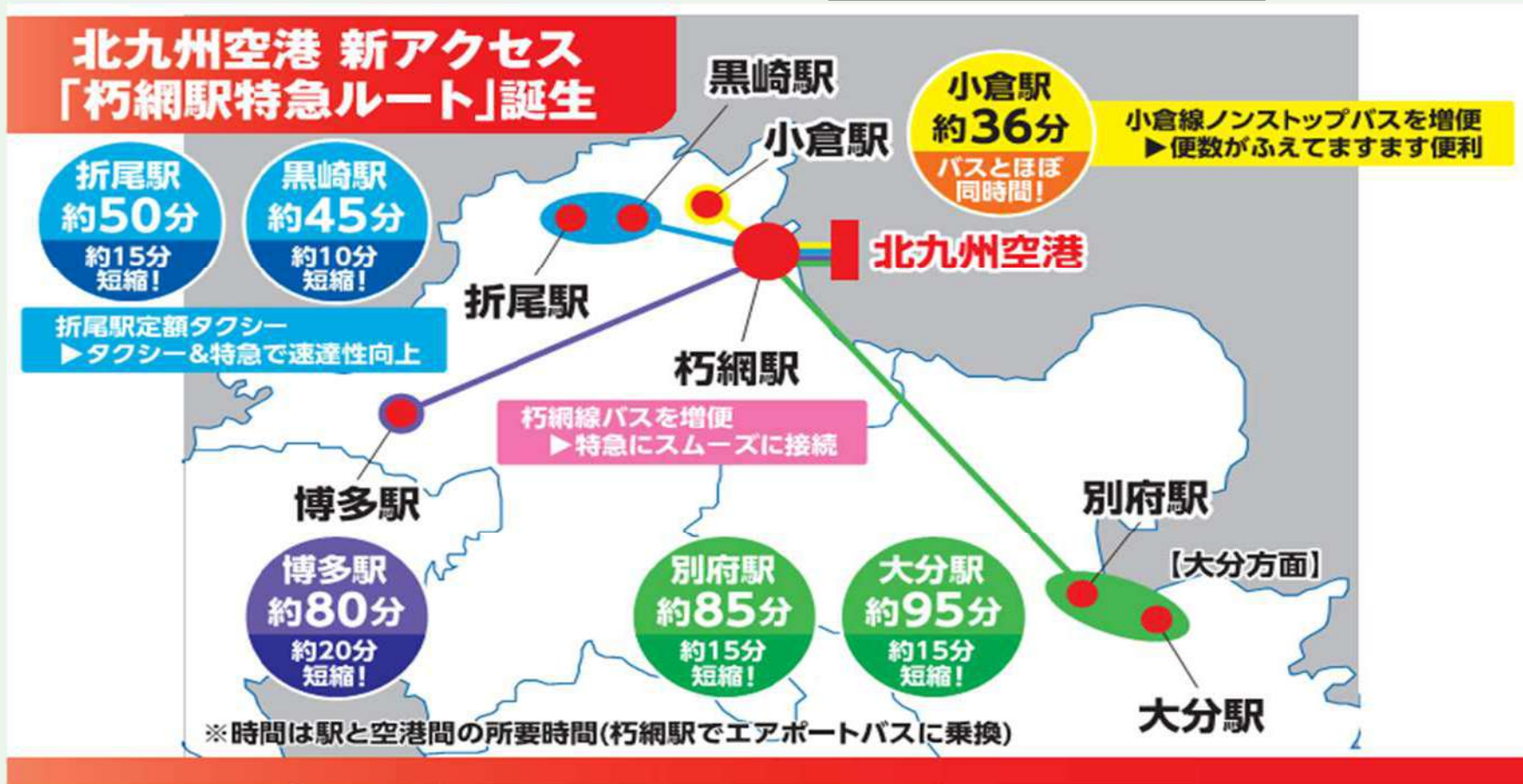
Kitakyushu
Action!

北九州空港の新アクセス「**朽網駅特急ルート**」が誕生！

空港開港以来の悲願であった朽網駅特急停車がついに実現！（R7.4.1より）

- ・ 空港最寄り駅である朽網駅に上下合わせて10本の特急が停車。
- ・ 特急停車に合わせてエアポートバス朽網線を増便（27→40往復）
- ・ エアポートバス小倉線のノンストップ便の増便（17→21往復）
- ・ 折尾駅を拠点とした利用者負担500円の定額タクシーのサービスを開始

今なら折尾・黒崎・小倉⇄空港間の特急+バスがなんと**500円**のお得なチケット販売中！



▶約6年ぶりの新規路線就航！！

Kitakyushu
Action!

Aero_K
エアロケイ航空

9/30^火より就航



週3便

韓国直行便 (火・木・土曜日)

北九州 ⇄ 清州 チョンジュ

Kitakyushu
Action!

動かせ、未来。北九州市